

議会議会だより やまもと

Vol. 185
令和元年11月1日発行



新人戦・優勝！
山下中学校 野球部 (9/29)

第2回臨時会

会期 8月1日

第3回定例会

会期 8月30日

～9月18日

■ 決算	P2～5
■ 総括質疑	P4
■ 特別委員会	P5
■ 監査意見・臨時会	P6
■ 議案審議・結果	P7～9
■ 一般質問	P10～16
■ 委員会報告	P17～18

全ての会計を認定

定例会概要

第3回定例会は、8月30日から9月18日までの20日間の日程で開催され、決算認定、補正予算や人事案件など43件を審議しました。平成30年度の一般会計、特別会計、事業会計の決算では、一人が総括質疑を行った後、決算審査特別委員会に付託され、5日間にわたり審議し、一部意見を付し、全ての会計を認定しました。また、議案審議では町道認定で討論が行われ、賛成多数で原案可決、その他の議案も原案のとおり可決、同意しました。一般質問では町政全般にわたり、7人の議員が町長の考えをたずねました。

決算概要

一般会計及び3特別会計を合わせた決算額は、歳入総額229億52万円、歳出総額205億8674万円となりました。

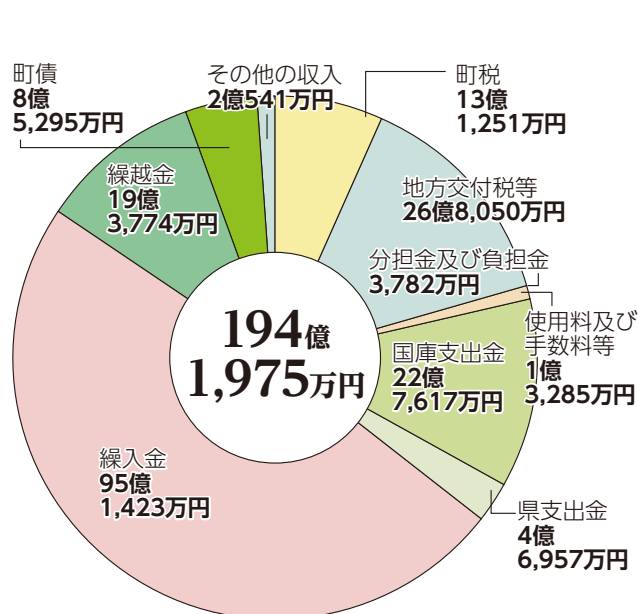
前年度比においては、歳入16億8520万円（6.9%）の減、歳出12億6113万円（5.8%）の減となりましたが、23億1378万円の黒字決算となりました。

○平成30年度各種会計決算一覧表 (単位：千円)

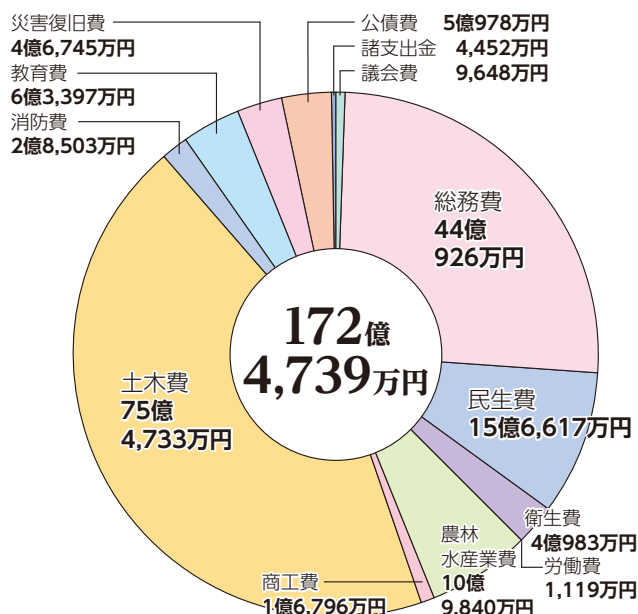
会計名		歳入	歳出	
一般会計		19,419,745	17,247,392	
特別会計	国民健康保険事業	1,913,300	1,862,769	
	後期高齢者医療	163,250	161,305	
	介護保険事業	1,404,228	1,315,274	
合計		22,900,523	20,586,740	
水道事業会計	収益的収入	455,810	収益的支出	398,056
	資本的収入	25,910	資本的支出	151,820
下水道事業会計	収益的収入	645,089	収益的支出	489,793
	資本的収入	582,195	資本的支出	825,686

一般会計予算内訳

【歳入】



【歳出】



平成30年度決算



目で見える
決算

一般会計 主な事業

役場庁舎新築復旧事業
(庁舎建設及び備品購入)

12億8,823万円

山下地区地域防災がけ崩れ対策工事
(再発を防止するためのがけ崩れ防止工事)

2,835万円

交流拠点施設整備事業
(「やまもと夢いちごの郷」建設工事)

3億5,891万円

指定文化財茶室調査・保存事業
(現状調査・修復に係る基礎資料作成)

302万円

旧中浜小学校震災遺構保存・整備事業
(改修・設計・モニュメント設計業務)

4,743万円

町民バス運行等事業
(町民バス・デマンドタクシー)

5,200万円

※決算額は、30年度のみのものであり、全体事業費ではありません。複数年度事業のものもあります。

平成30年度決算

成果は？ 効果は？

総括質疑

遠藤 龍之議員

介護保険料の引下げを

町長 次期計画で保険料率設定に努める

議員 介護保険事業において約9千万円の赤字となり、そのうち4千500万を財政調整基金に積み立て、基金残高は約2億円だが、次年度へ向け基金の活用も具体的に考える必要があるのでは。

町長 決算額が計画における推計値と比較すると、約1億3千万円下回っている。その結果、認定後の基金残高は、約2億円と年々増加傾向で推移、第8期計画を策定する中で、基金を有効活用した保険料率の設定に努める。

議員 2億円近い基金残高は貯め過ぎと思うが。

課長 計画からすると30年度の基金の推移としては、1億円ほど残ると推計。今後の計画でこの財源を活用し、被保険者の負担を和らげる工夫をしたい。

議員 当然、基金を取り崩し、保険料を引き下げるべきである。

議員 新浜諏訪原線道路整備事業の取り組みは。

町長 29年度工事着手予定が、実質的には、30年度の工事着手となり、その進捗は事業費ベースで約12%となっている。

決算審査特別委員会

意見を付し「認定すべきもの」

平成30年度各種決算（6会計）は、9月6日に決算審査特別委員会（橋元伸一委員長）を設置し、5日間にわたる審査を行いました。また、9月18日の本会議で次の意見を付し認定しました。

- 1 新浜諏訪原線・高瀬笠野線などは、住民や議会への十分な説明もないうまま事業が変更され、遅延や課題が多く見られる。以前の意見にもかかわらず同様の問題が起きていることを重く受け止めるべきである。
- 2 町民バス・デマンドタクシーの運営を見直し、早急に改善すべきである。
- 3 予算執行については、各課が連携し将来を見据えた、より効果のある財政運営に取り組みたい。
- 4 山元町介護保険事業特別会計の基金を有効活用し、被保険者の負担軽減を図るべきである。



最終日の委員会の様子

町長等への主な質疑

○町長出張

議員 JR東日本に対する陳情が一回だけについて、どう捉えているか。

町長 必要な時期に必要な行動を常磐線北部促進期成同盟会として対応している。

議員 北海道出張に、運転手が同行した目的は。

町長 伊達市のふるさと従兄弟サミットに合わせ、胆振東部地震のお見舞訪問をした。限られた時間を有効に活用するため、運転手を同行しレンタカーを利用した。

○高齢者福祉

議員 震災前にあった梅香園のような施設を整備する考えは。

町長 他の施設を利用、有効活用も含めて考えている。

議員 元々あった施設であるが、元に戻さないということか。

町長 考えている事業者があれば、今後、町としても相談に応じていきたい。



○婚活支援事業

議員 これまでの取り組みと30年度の成果については。

町長 今後、粘り強く、成果の上がる方策を見出したい。

議員 業務委託と同時に、地域の方々の力を借りる考えは。

町長 以前に実施していたが、若者の考えを考慮して専門業者に委ねるといった形にした。

○定住促進対策事業

議員 山下駅周辺に家を建てる土地が無いという声があるが。

町長 民間の宅地開発を誘導できる道路の整備をしていきたい。

議員 戻ってきた町民への優遇策も考えるべきでは。

町長 さらに制度の拡充を図りたい。

○東部地区農地基盤整備事業

議員 畑地の不具合問題にスピードアップで取り組むべきでは。

町長 土壌改良などを実施し、早期に不具合の解消に取り組んでいきたい。

議員 生産者も生活がかかっているので、補償については考えているのか。

町長 営農者、県、町などの関係機関で協議・検討していく必要がある。

○企業誘致

議員 津波防災区域第一種非農用地に工場誘致を進めては。

町長 主要な道路に接した区画が大半なので、アクセスを活用した非農用地の展開をしていきたい。

○公共下水

議員 人口が減少している中で、坂元地区の農業集落排水は、今後成り立つのか。

町長 農業集落排水を公共下水に接続する事業を進めている。

議員 公共下水の不明水の原因が震災にあるならば、復旧事業として早急にやるべきでは。

町長 不明水対策調査結果を分析し取り組みたい。

○学校管理費

議員 不用額が多いが。

教育長 当初にしっかりと判断して対応すべきだった。

議員 山小校庭の土の流失、山一小の外トイレ、山二小のグラウンドの除草などの整備が必要ではないか。

教育長 学校は、スポーツ少年団等に開放の場所にもなっているため、よりよい環境整備に努力していきたい。

○学力向上

議員 県の加配が無くなった場合の人員配置は考えているか。

教育長 支援員を配置するなど、教育活動の充実を図り、子供たちを育てていきたい。

議員 町としてどう捉えているか。

町長 県からの教員派遣など教育総務課の体制を整え、学力向上につなげるよう取り組んでいく。



○茶室

議員 調査期間が長すぎると思うが。

教育長 坂元の城下町を歴史遺産として広く活用できないか、検討委員会を設置し、進めている。

監査委員からの決算審査意見書(抜粋・要約)

(審査期間：7月9日～8月2日)

審査に付された平成30年度一般会計、各特別・事業会計の歳入歳出決算書、及び各種基金の運用状況は、いずれも関係法令に基づいて作成されており、計数等もこれらの諸帳簿と符合していた。予算の執行についても有効かつ適正であると認められた。



より一層の健全な行財政運営の執行と職員一人ひとりが住民に寄り添いながら、事務効率を第一とした能率的な執行に努めるとともに、次の事項について留意されたい。

1 町民を中心とする来庁者への対応

新庁舎が親しまれるよう、職員の親切・丁寧な対応をしていただきたい。

2 「町民バス(ぐるりん号)」 「デマンドタクシー」の運用見直し

限りある財源の中での利便性向上、改善を検討していただきたい。

3 庁舎内の文書管理

公文書管理のさらなる統一化を進めていただきたい。

今後も、地域経済の活性化を図り住民が将来にわたり健康で安心、安全に暮らすことのできる町づくりを目指し、取り組まれるよう強く望みます。

監査委員 淀川 昭

監査委員 岩佐 哲也

令和元年 第2回臨時議会

業者側が町へ支払い 和解

8月1日(木)に臨時会が開催され、次の議案1件を審議し、原案のとおり可決(全員賛成)しました。

議案番号	事件名
議案第44号	和解について



○内容

平成26年から、文化財保護法に基づき土砂採取事業による「犬塚遺跡(中浜区)」発掘調査を実施していた。しかし、調査費用の一部が未払いとなっていたことから、町では業者へ支払いを求め、30年7月に仙台地方裁判所に提訴していた。その結果、裁判所から和解の勧めがあり、業者が町に支払うことで和解した。

町道路線廃止・認定



○町道路線廃止・認定
(議案第68・69号)

提案理由

道路の改良による起終点の変更に伴い現路線の廃止・認定をするため

- 〈廃止路線〉 ・ 下郷新町西線
- ・ 真庭千保田線
- 〈認定路線〉 ・ 下郷新町西線
- ・ 町東10号線・高瀬南山線
- 線・真庭千保田線・つばめの杜北線

主な質疑

議員 地権者への説明・同意等の状況は。

課長 7月に、関係する区長・副区長に説明をし、並行して対象路線の地権者に対して事前の説明なく議案を提出したことをお詫びさせていただいた。その後、真庭地区・つばめの杜地区周辺の地権者へ説明した。

議員 地権者の同意は得られたか。

課長 誰が地権者か完全に特定されていないため、説明会では意見のみ伺った。

議員 説明会において、出た

意見をどのように反映したのか。

課長 意見を取り入れるためにも、詳細な設計を行わない、改めて住民へ説明を行なっていきたい。

議案第69号 採決表

氏名	採決結果
阿部 均	—
青田 和夫	○
橋元 伸一	●
高橋 建夫	○
遠藤 龍之	●
大和 晴美	○
菊地 康彦	○
岩佐 秀一	○
伊藤 貞悦	●
岩佐 孝子	●
竹内 和彦	○
渡邊 千恵美	○
岩佐 哲也	○

○ 賛成 ● 反対 — 議長



計画路線 (つばめの杜北線)

討論

原案に反対

岩佐孝子議員

町民の理解を得てから提起すべきであり、議案第69号町道路線認定について、次の3点から反対する。

- 1 1回だけの説明会で、地元・地権者の理解は得られていたのか。地域住民の意見を反映されたものではない。
 - 2 路線全体の計画を示さず、優良農地を分断した事業を強行すべきではない。
 - 3 総合計画、都市計画、土地利用計画に基づいたものとはなっていない。
- 不十分な中での計画を認めることはできない。

○過疎地域自立促進計画
(議案第60号)

提案理由

過疎地域自立促進計画の一部変更
〈施策の区分変更〉
・ Wi-Fi環境整備事業
・ 子育て世代包括支援センター事業

主な質疑

議員 町道つばめの杜北線・真庭千保田線の整備事業は、どのような観点から計画に追加されたのか。

課長 国の交付金が予算措置されているが、町の自己負担分もあるため、その分に過疎債を充当できればと考えている。

議員 レクリエーション施設整備事業費を減額した理由は。

課長 現時点において、その年度に費用を使う見込みが無くなったため。

議員 変更前の総事業費はどうみていたか。

課長 計画上は、8億2千400万円ほどの計画、概算の事業費とみていた。

議員 当初の計画、事業費は間違いだったのか。

課長 その状況に応じた内容を精査して計画を変更している。当初のものが間違いだったという理解はしていない。

議員 整備事業計画は令和2年度までということか。

課長 過疎地域自立特別措置法の法律期限は令和2年までとなっている。

人事

教育委員会 教育長

菊池卓郎 氏 (横山区)

を同意

※任期満了に伴う再任

人権擁護委員

庄司克哉 氏 (中山区)

を適任と答申

補正予算

一般会計補正予算は、地方交付税や決算に伴う繰越金等を含む1億7千万円増額を可決しました。

令和元年度 各種会計補正予算一覧票 (単位：千円)

会計名	補正額(9月)	合計額
一般会計	170,131	11,821,703
国民健康保険事業特別会計	△ 2,437	1,823,004
後期高齢者医療特別会計	1,944	169,849
介護保険事業特別会計	52,898	1,493,384
水道事業会計	△ 9,336	601,467
下水道事業会計	22,065	1,127,068

新規条例

○任用職員の給与・報酬・期末手当及び費用弁償に関する条例(議案第45・46号)

〔総務民生常任委員会へ付託〕

制定内容

地方公務員法に基づき、会計年度任用職員に係る給与に關し必要な事項を条例で定める。

施行期日

令和2年4月1日

主な質疑

議員 対象者は何名か。

課長 (議案第45号)フルタイム20名、(議案第46号)パートタイム40名である。

議員 現在の臨時職員

の人数は。

課長 172名を任用している。

議員 全員が会計年度に移行了場合は。

課長 約1億5千万万の増額になる。

議員 来年度も172名が必要なのか。

課長 事務事業を精査しながら必要な人数を調整していく。

委員会審査結果

「可決すべきもの」として報告



条例の一部改正

○山元町立学校の設置に関する条例の一部を改正する条例(議案第59号)

趣旨

新中学校の開校に向け、教育委員会臨時会にて決定し設置条例の一部を改正する。

契約

○工事請負契約(議案第63・64・65・66号)

〈改正内容〉

改正後		改正前	
名称	所在地	名称	所在地
山元町立山元中学校	山元町山寺字畑中29番地	山元町立山下中学校	山元町山寺字畑中29番地
		山元町立坂元中学校	山元町坂元字山作1番地

名称	金額 ※税込	落札率	相手方
頭無西牛橋線道路改良工事	8,266万円 (指名競争)	83.64%	安田工務店 (山元町)
山下浅生原線道路改良工事	6,005万円 (指名競争)	85.96%	野村建設(株) (山元町)
埋蔵文化財収蔵庫建設工事	9,936万円 (条件付き一般競争)	99.51%	(株)阿部工務店 (亘理町)
旧中浜小学校メモリアル広場整備工事	6,674万円 (指名競争)	81.71%	野村建設(株) (山元町)

○令和元年 第3回定例会 議案等の審議結果

議案番号	事 件 名	結 果	
報告第 9号	平成30年度決算山元町健全化判断比率について	報 告	
報告第10号	平成30年度決算山元町公営企業資金不足比率について		
報告第11号	専決処分の報告について（工事請負契約金額の変更） ※山元東部地区非農用地造成工事		
報告第12号	専決処分の報告について（工事請負契約金額の変更） ※町道片平山線舗装補修工事	認 定	
認定第 1号	平成30年度山元町一般会計歳入歳出決算認定について		
認定第 2号	平成30年度山元町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について		
認定第 3号	平成30年度山元町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		
認定第 4号	平成30年度山元町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について		
認定第 5号	平成30年度山元町水道事業会計決算認定について		
認定第 6号	平成30年度山元町下水道事業会計決算認定について	可 決 (全員賛成)	
議案第45号	山元町第2号会計年度任用職員の給与に関する条例 【P8掲載】		
議案第46号	山元町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例 【P8掲載】		
議案第47号	職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例		
議案第48号	山元町非常勤消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例		
議案第49号	山元町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例		
議案第50号	山元町心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例		
議案第51号	山元町子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の一部を改正する条例		
議案第52号	山元町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例		
議案第53号	山元町水産業共同利用施設設置条例の一部を改正する条例		
議案第54号	山元町道路占用料条例の一部を改正する条例		
議案第55号	山元町都市公園条例の一部を改正する条例		
議案第56号	山元町水道事業給水条例の一部を改正する条例		
議案第57号	山元町下水道条例の一部を改正する条例		
議案第58号	山元町地域下水処理場条例の一部を改正する条例		
議案第59号	山元町立学校の設置に関する条例の一部を改正する条例 【P8掲載】		
議案第60号	山元町過疎地域自立促進計画の変更について 【P7掲載】		
議案第61号	平成30年度 東基復工3号 山元東部地区非農用地造成その3工事請負契約の変更について		
議案第62号	平成30年度（債務） 漁機2号 東波除堤工事請負契約の変更について		
議案第63号	令和元年度 社総交（復興）請3号 頭無西牛橋線道路改良工事請負契約の締結について		
議案第64号	令和元年度 社総交（防安）請1号 山下浅生原線道路改良工事請負契約の締結について		
議案第65号	令和元年度 山元町埋蔵文化財収蔵庫建設工事請負契約の締結について		
議案第66号	令和元年度 復興交付金事業 旧中浜小学校メモリアル広場整備工事請負契約の締結について		
議案第67号	公の施設の指定管理者の指定について ※磯浜漁港 漁具倉庫		
議案第68号	町道の路線廃止について 【P7掲載】		
議案第69号	町道の路線認定について 【P7掲載】		可 決 (賛成8 反対4)
議案第70号	令和元年度山元町一般会計補正予算（第2号）		可 決 (全員賛成)
議案第71号	令和元年度山元町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）		
議案第72号	令和元年度山元町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		
議案第73号	令和元年度山元町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）		
議案第74号	令和元年度山元町水道事業会計補正予算（第1号）		
議案第75号	令和元年度山元町下水道事業会計補正予算（第1号）		
同意第 4号	教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	同 意	
諮問第 2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適 任	

○陳情の受理

陳情番号	件 名	陳情者等の氏名	結 果
陳情第 8号	令和2年度 理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願い	公益財団法人 日本理科教育振興協会 会長 大久保 昇	配布のみ

津波防災区域第3種の至急見直しを

町長 出来るだけ早く方向性を示す



議員 岩佐 哲也

議員 被災3県中、沿岸部25市町村の実津波防災区域に指定している面積は平均33%だけであるのに対し、わが町は実に81%と広く指定している。見直すべきでないか。

町長 区域の見直しや解除に当たっては、単に面積の割合や、他自治体との比較、あるいはイメージにより判断するものではないと考える。

議員 他自治体は新防潮堤建設により、実水深より大幅に危険度が低減されると判断し危険区域を指定している。巨理町は15%、新

地町は5%だけである。一線堤は両町と同じであり、わが町だけが危険度が高いとは考えにくい。29年度のシミュレーションの結果、当初の設定時と殆ど変わらないので見直さないとこのことだが、堤防が壊れて無かった時と高さも高くなり頑丈な壊れにくい堤防建設後と同じとは理解できない。

町長 今まで何回も議会で取り上げられ説明してきた。浸水深に大きな変化が見られず、新防潮堤等の建設による危険度の大幅な低減もみられなかった。したがって津波防災区域の変更は出来ない。

議員 一線堤だけでも理論上約60%の越水量がブロックされ、二線堤で、さらに減水される。他市町村が、危険区域を30%以下に設定しているのは、このこ

とを考慮してと思われる。わが町は81%である。新防潮堤建設の効果が全く無いということであり、理解できない。議会や町民に十分な説明は出来ていないし納得していない。だから同じ質問を今回も複数議員が取り上げているのである。以前、町長は、3種区域は見直しを検討するとの回答している。なぜ、後退したのか。担当部署が変更になり、方針が変わったのか。

町長 今ここで、いつまでもの明快な回答は出来ないが、3種区域については、他の区域とは別に工夫の余地があるとの認識でいる。出来るだけ速やかに方向性を示せるよう努力する。

議員 わが町は一つの議論を分かりやすくするため、議会基本条例の定めにより「一問一答」方式としているが、私の質問4問に対し一答のみである。前回は改善を申し入れている。今後このよう

なことの無いよう再度申し入れておく。



第3種津波防災（災害危険）区域

持続性のある農業の実現を

町長 視点観点から再構築する重要な時期

議員 水田農業において、未耕作地の改善が停滞しているが、抜本的な解決法は。

町長 未耕作農地が中山間部に集中し、耕作条件が悪く、借り手がない現状を認識し、第6次総合計画の中でも、農地の適切な保全管理と有効活用が図られるよう取り組んでいく。

議員 中山間地の農地の活用についてどの様に分析しているか。

町長 耕作条件が悪い

ことが、意欲的な担い手への足かせとなっている。

議員 担い手への推進の為に、耕作条件の悪い圃場整備は必要不可欠と思うが。

町長 多面的機能支払交付金の活用も含め、必要な対策はしっかりと取っていく。

議員 地域ごとではなく町全体で組織化して、事業を有効に活用し、用排水路等の整備を行うことで耕作条件も良くなり、町全体の

農地整備になるのでは。

町長 制度活用を広げる観点では今の提案は検討に値するが、課題を抱えている地域の皆さんと問題意識を共有し検討をしていく。

議員 わが町の農業はまだ余力があり、担い手も他の自治体より多いと思う。労力と知恵を結集し、次の時代に引き継ぐ取り組みに期待する。



きくち やすひこ
菊地 康彦 議員



豊かな大地に大きな夢を

思いやりのあるまちづくりを

町長 思いやりのある対応を行う

議員 東街道への歩道整備の計画は。

町長 事故発生状況や、見通しの悪い区間等の整備も課題であることから、今後安全対策を実施する方向で検討する。

議員 津波防災区域の私道が荒れた状態になっているが。

町長 ミニ開発した住宅地の道路が、開発業者の倒産、所有者不明等により、劣悪な状況である。個人財産で行政が関与できない状況ではあるが、人が住んでいる現実を考え、一定の基準のもとで町が支援策を講ずる必要があると考える。

議員 山間地の土砂災害特別警戒区域への対応は。

町長 既存の制度でできるだけ適用出来るよう努力し、また、県内の町村会と連携し支援要件の緩和や緊急措置を要望していく。

議員 町営住宅の長寿命化計画は10年としていますが、高齢者が住宅内で安心・安全に生活をしていけるのか。

町長 高齢者にとって利便性が課題となっている。介護保険制度の活用や、見守り活動を通じて思いやりのある対応を行いたい。

議員 優先順位を見極め、思いやりのあるまちづくりに取り組むことを期待する。



あと10年大丈夫？

10年後再編予定の小学校の候補地は

教育長 中学校再編後に検討を進める



伊藤 貞悦 議員

議員 10年後、将来を見据えた中央公民館・保健センター、青少年ホームを今後どうするのか。具体的な計画はあるのか。

町長 保健センターは子育て相談窓口として有効活用するため改修し本格的に事業を開始した。新規に子育て世代包括支援センターの機能を持たせ妊娠期から切れ目のない積極的な事業展開をする。今後の方向性について、この施設は青少年ホーム、中央公民館・保健センターの3つの機能が一体となった施設である。教育委員会と連携し施設のあり方を検討する。

議員 10年後にどうするかとの観点から、予測や予想だが、第二小学校が利用されなくなったら保健センターを移転し、保育所・児童センターと包含し、子育て拠点施設とする考えはないか。

町長 現段階では先行した回答は差し控えた。ただ、保健センターをとという提言は1つの考え方と受け止めさせていただく。

議員 小学校は現段階で、10年後1校に再編する方針に変わりはないのか。

教育長 中学校の再編が終了した段階から、検討に入る予定である。

議員 中学校の再編で大丈夫なのか。候補地は考えていないのか。

教育長 候補地は具体にはなく、既存の活用と新しい校地・校舎建

設という、2つの事が考えられる。ということだけでとどまってい

議員 役場庁舎の敷地内に将来再編される小学校を建設する考えはないか。

町長 新たな小学校用地への考えは、役場敷地の有効活用を、常に問題意識を共有しながら取り組んでいくべきものと思う。現段階で特定の場所について、私の立場で先行した発言は控える。

議員 体育文化センターは、雨漏りの修繕計画があるが、直すだけでも時間と経費を要すると、修繕しても10年程度と思われる。このことから町にとってスポーツ・レクリエーション施設整備計画において総合体育館の建設が最優先と考えるが。

町長 施設の耐用年数は一定程度あるので、当面は維持補修をしながら有効活用していきたい。提言内容はその先の問題として、そのタイミングが来れば、皆さんと一緒に大きな問題として取り組むべき課題である。



一日も早い対策を (体育文化センター)

その他の質問

- 1 安全・安心な町づくりについて
- 2 人材の育成について

1日でも早い保育所建設を

町長 考え方に変わりはない

議員 少子高齢化における町の存続を図るための施策について伺う。

町長 震災後の町の状況から、保育所、学校再編などの町全体を考えた施策にしていきたい。

議員 子育てしやすい、教育環境整備をすべきではないのか。

町長 日本中で人口減少、少子高齢化に入っている。国の方向性と大きくずれない対応をして行かざるを得ない。

議員 移住・定住事業を実施している。田舎は、田舎なりのやり方があるのではないかと。

町長 統合した保育所の中で、極力対応するよう努力している。

議員 年度途中でも入所できる環境を整備すべきではないか。

町長 必要なスタッフを確保できない状況である。

議員 議会全員一致で保育所再建について可決している。30年度までに建設する計画が、なぜ踏み切れないのか。



議員 高尾 孝子 岩佐 さいわ

町長 現段階では、今までの考えに変化はない。

議員 誰もが安心して転入し、子育てしやすい環境整備に取り組むべきである。

過疎からの脱却を図る施策を

町長 さまざまな施策を検討する

議員 健全財政のための対策について、ふるさと納税、振興基金の活用について伺う。

町長 ふるさと創生の中で独自のなまちづくりのため創設したものである。

議員 担い手や青少年の人材育成、まちづくり、地域づくりの活用であると思う。パークゴルフ、綱引き大会へ活用の効果については。

町長 町のにぎわい、活力創造に向け、効果を発揮している。

議員 ふるさと納税で、当町を応援している方が増加している。27年度約786万円が、昨年度は件数4倍、金額は約6倍の4千800万円。これを大事に活用していかなければならないのではないかと。

町長 基金の活用については、今後の検討課題としたい。

議員 他自治体では、

高齢者福祉サービス、子育て少子化対策基金を積立し、基金の最大限の活用している。当町での考え方は。

町長 基金の活用については、必要に応じ外部や有識者の方々からの意見を参考に、運用していくべきと考える。

議員 派遣職員の減少、予算も縮小されている。過疎からの脱却の考え方、方向性は。

町長 考え方に変化はない。

議員 夢と希望の持てる持続可能なまちづくりをすべきである。



まちづくりを考える若者たち

将来を見据えた今後の町づくりは

町長 これからも創造的復興を目指す



橋元 伸一 議員

議員 駅を中心に町づくりを考えたとき、山下、坂元、両駅とも東側は津波防災区域であるが、津波防災区域の見直しを含め、今後の土地利用の考え方、進め方は。

町長 コンパクトシティの理念のもと、駅を中心とした新市街地整備に取り組んできた。坂元駅東側は、第1種津波防災区域であるため、今後も農業振興を図っていく。山下駅東側は、第3種津波防災区域であるが可住区域である。既存市街地との連担性を図るうえで重要な地域と考えており、土地利用の施策を検討していく。

議員 第3種津波防災区域に関しては、できるだけ早い段階での見直しを進めたいということではないか。

町長 基本的には、そのように理解していただいてよい。しかし、津波新法に基づくシミュレーションの結果による今後の県の見解を、議会や町民と問題意識を共有しながら、考えを整理していく必要がある。

議員 新市街地と既存集落との連担性を、どのように考えているか。

町長 教育施設や商業施設などを集約した市街地の利便性を、既存市街地でも享受することを中心に一体となることを目指してきた。避難道路やその他の道路整備によって、連担性の向上に資する対策を講じてきた。引き続きハード整備だけでは

なく、ソフト面においても様々な施策を検討していく。

議員 避難道路の整備が進んでいるが、その外の町道整備は、どのように考え、進めていくのか。

町長 今後、市街地間の連担性向上を目指し、現道路の改修や新規道路の整備を計画的に実施するとともに、住民の要望を踏まえた道路整備に努めていく。また、震災に起因する既存市街地におけるミニ開発団地の私有道路に対しても、前向きに検討し、地域住民の利便性の向上に努めていく。

議員 中学校再編にあたり、通学路を含む周辺道路環境整備は、どのように考えているか。

教育長 通学路として想定される路線や新中学校予定地周辺の道路については、担当部局と情報共有を密にし、安全点検などを行い、必要に応じて、国や県の道路管理者と協議を行うなど、環境整備に努め、開校に向け取り組んでいく。



3種区域の空地の利用計画は（山下駅東地区）

パークゴルフ場建設の総事業費は

町長 計画地を絞り込んだ段階で示したい

議員 前回質問しているが、十分な回答とはなっていないので、改めて伺う。事業可能性調査結果に問題はなかったか。

教育長 調査段階で候補地が決定していないこと、さらに設計業務を行う前の調査結果であったことから、今後不確定要素の部分の精度を高めることが必要であると認識している。

議員 そもそもこの事業の進め方に問題はな

かったのか、この間の経緯を見て、どう受け止めているか。

教育長 候補地選定及び概算総事業費を示したうえで、事業実施の判断をすべきとのこと意見をいただき、再検討をした結果、今後の取り組みを軌道修正したところである。今後も、引き続き町長部局と調整を図り、より具体的な説明ができるよう努めたい。

議員 今後の取り組みを軌道修正するという



えんどう 遠藤 たつゆき 龍之 議員

前向きな考えを示しているが、候補地も決まらず、総事業費も示さないで「決めてくれ」とする手法に問題があることを指摘しておく。

この調査結果を町としてどのように検証し、議会に提案したのか。どれほどの検証をしたのか。

教育長 調査結果は、平均的な値が多く、具体的なものが判断できかねるということから、軌道修正した。それなりのデータかと考えている。

議員 理解できる説明、資料であれば積極的に理解しようとするが、このような調査結果となるのではとても認めるわけにはいかない。

住民の意見・要望の対応・改善は

町長 可能な部分から見直し・改善する

議員 町民バス運行事業について、通院、通学、買い物等の日常生活に必要な交通手段の一つとしてさらなる利便性の向上を図るため、新駅や新たな市街地、既存集落との交通網の整備を行うとしている。少子高齢化が他市町村より進み深刻な状況にある中、町民バスの果たす役割は高く、住民からの運行改善、充実を求める声も広がっている。住民から寄せられている意見、要望の対応と改善に向けた取り組みは。

町長 町民意向調査で、町民バスの必要性は高いものの、利便性の満足度が低い結果であることは認識している。可能な部分から見直し、改善を図っていく。

議員 土曜日運行等、改正前の運行に戻す考えはないか。

町長 一定の方向を見

いだせるよう検討していきたい。



その他の質問

復興は「総仕上げ」のゴール間近として、震災前に戻りつつあることを強調しているが、津波防災区域（災害危険区域、特に、3種区域の早期見直し実施を。

北部の自然を生かした町活性化を

町長 計画的に進める



たかはし たてお 議員
高橋 建夫 議員

議員 町の半分以上の排水を受け入れる牛橋河口の浚渫を定期的の実施しては。

町長 河口内の環境を配慮し、計画的に実施する。

議員 河口入り口の自然堤防護岸工事完成は。

町長 令和5年に完成する。

議員 横山東線の※サイホンの清掃は継続しているが、一昨年の台風時の応急ポンプに問題があったことも含め、これまでの教訓を活かした改修が必要では。

町長 3つの行政区の排水を下流に導く重要

施設のため、藤崎川と合せ効果的改修に取り組む。

議員 小平の北側にある水路下流の冠水問題と直結する鷲足川、山寺川、巨理用水路合流部の改修が急務では。

町長 合流部の水門を早めに撤去し、小平地区は従来の西から東への直線的排水を検討する。

議員 牛橋河口周辺の自然を活かした観光、レジャーランドの考えは。

町長 復興の状況を見据え、観光資源活用策の検討を行う。

議員 四方山の対空レーダー施設跡地を町の交流人口拡大に活かす考えは。

町長 1市2町（角田・亘理・山元）の協議会で、活用意識を共有している。また、跡地については、国からの売却が手続き上、3

5年程度の期間を要する。

議員 協議会が一丸となり国に要望書を提出する考えはないか。

町長 連携し、所管省庁に対応したい。

議員 山元インター周辺への企業誘致は。

町長 インター周辺は適地の可能性があり、沿岸部と平行し取り組む。

議員 町長就任後、予定を含め18社の企業誘致がある。今後、雇用の周知を工夫し、定住促進を図っては。

町長 雇用実現、企業の増設・拡大時にも積極的に期待できる企業へアプローチをする。

議員 牛橋地区の津波防災第3種区域のベツドタウン化の取り組みは。

町長 有効な定住人口確保の受け皿である。嵩上げ支援の延長も含め検討していく。

議員 宿泊施設、食事処を民間と連携し取り組む考えは。

町長 当面、産直施設敷地内の飲食店開業に取り組み。

議員 担当課は企業誘

100万人交流人口のおもてなしを

町長 産直施設敷地内の飲食店開業に集中

致等の業務もあるため、それらを踏まえた職員配置が必要では。

町長 メリハリのある組織管理運営に努める。



改修を待つ旧巨理用水路

※サイホン・・・圧力差を利用して、液体をその液面より高い所へいったん導いて低い所に移す曲がった管

町の仕事をチエツク

総務民生常任委員会

○保育所再建

意見

・進展や変化の際は、議会への説明を早めに行うべきである。

○高齢者福祉

(引きこもり対策等)

意見

・引きこもり相談窓口（保健福祉課）の情報提供の周知が必要である。

○中期財政見直し

意見

・見通しが来年になることだが、機会を捉え基金残高の現状や形成過程の説明を早めに行うべきである。

○入札契約

意見

・町内業者の育成は意見交換等を継続的に行うべきである。

・総合評価方式を進めるにあたり、考えを整理すべきである。

・現在の落札状況を分析する必要がある。

○過疎地域自立促進計画

意見

・計画に変更が生じる場合は、その過程も議会に示すべきである。

○第6次総合計画

意見

・全町民が対象のため、内容が明確、明快な表現になるよう留意し作成していく必要がある。

○町民バス

意見

・土日の運行も考えるべきであり、デマンド型タクシーも含め利便性向上を図るべきである。

○パークゴルフ場

意見

これまでの調査結果において、パークゴルフ場整備に対し、最も重要と考えられる経済効果、候補地選定、及び概算総事業費、町の財政状況との整合性についての説明が無いため、現段階で事業の可否について判断することができない。また、経費節減からも、業務委託ではなく自前で調査をするべきである。

産建教育常任委員会

○災害対策

(山林・河川・避難道路)

意見

河川の浚渫については、下流である沿岸部において、土砂が堆積している場所が見受けられる。そのため、再度確認をするべきである。遅れている新浜諏訪原線は、用地取得が50%に達しておらず、令和2年度の工事完了は厳しいと思われる。また、坂元地区の四番作道かさ上げ整備を早急に着手すべきである。

○教育環境整備

意見

学力向上や不登校については、解決に向け目標を数値化し積極的に取り組んでいる。給食は、来年度から

公会計で進められるよう検討しているが、実現するべきである。町は、住民、検討委員会、議会の意見を真摯に受け止め、教育環境整備を進め、住民の不安を払拭するよう努めるべきである。



委員会の様子



学校との意見交換（坂中）

産建教育常任委員会

月日

7月29日(月)

～30日(火)

研修地・項目

1 栃木県茂木町

・道の駅もてぎ

・廃校利活用

(昭和ふるさと村)

2 茨城県石岡市

・廃校利活用

(朝日里山学校)

概要

1 道の駅もてぎは、

年間来場者109万人、

全国道の駅6駅に

選定され、関東道の

駅ランキング1位で

ある。隣接した宿泊

施設を整備する「ト

リップベース道の駅

プロジェクト」に参

加している。

昭和ふるさと村

は、平成18年に廃校

になった小学校を一

般公募により、民間

企業に月額5万円で

賃借し体験型宿泊施

設として運営。

2 朝日里山学校は、

平成16年に廃校に

なった小学校を利用

し、体験型観光施設

として指定管理制度

により運営。

まとめ

・道の駅もてぎは、社

長である町長のアイ

ディアにより、次々

と特色のある施策を

展開し成功してお

り、自然を生かした

施策などを参考に

したい。「トリップ

ベース道の駅プロ

ジェクト」は、当町

でも検討すべきであ

る。

・廃校利用については

幅広く宣伝し、指定

管理だけでなく民間

企業と連携し、賃貸

借無償での貸し出し

も検討する必要があ

ると考える。

議会広報・広聴常任委員会

月日

8月5日(月)

～6日(火)

研修地

1 岩手県住田町

2 宮城県女川町

項目

・議会広報(作成、発

行、内容)

・議員と事務局の役割

分担

・広聴の取り組み

まとめ

・住民の声や意見を積

極的に収集し、議会

だよりに掲載してい

るのは、当町におい

ても取り入れていき

たい。

・報告会は、多くの声

を町政に反映すべ

く、積極的に開催し

ている。

・議員は、目線をどこ

に向けていくべきで

あるかを考えさせら

れた。常に住民との

関係を大切にし、寄

り添った活動を展開

していききたい。

議会運営委員会

月日

7月1日(月)

～2日(火)

研修地

1 宮城県加美町

2 山形県朝日町

項目

・議会改革(開かれた

議会)への取り組み

概要

1 加美町議会は、議

員協議会を立ち上

げ、行政に対する

チェック機能を果た

し、議会の活性化に

取り組んでいる。

2 朝日町議会は、議

会活性化特別委員会

を設置し、町民への

開かれた議会、また、

町政への町民の思い

が通じる議会改革を

進め、意見交換会を

行い、活性化に取り

組んでいた。

まとめ

議員協議会では、町

の事業運営等に関し活

発に協議されていた。

また、タブレット端末

の導入は事務の省力化

や経費節減、利便性の

向上が図られていた。

意見交換会は、町内

数箇所を2班編成で行

い、町民の思いを「意

見書」として提出し、

予算編成に反映させる

施策を行っており、当

町においても参考とす

べきである。



研修の様子(女川町)



議員の会議等出欠状況

令和元年7月1日～令和元年9月30日

出席：○ 欠席：欠（病気等）・公（公務） 員外：—

月	日	曜日	開催会議名等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
				岩 佐 哲 也	渡 邊 千 恵 美	竹 内 和 彦	岩 佐 孝 子	伊 藤 貞 悦	岩 佐 秀 一	菊 地 康 彦	大 和 晴 美	遠 藤 龍 之	高 橋 建 夫	橋 元 伸 一	青 田 和 夫	阿 部 均
7	1	月	議会運営委員会 視察研修（～2日）	—	—	—	—	○	○	○	—	—	○	○	欠	○
	3	水	議会広報・広聴常任委員会	—	○	—	○	—	○	—	○	—	—	○	—	—
	4	木	仙南・巨理地方町議会議長会 常任委員長研修会（～5日）	—	—	—	—	○	○	○	—	—	○	—	欠	○
	8	月	県町村議会議長会 議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	9	火	兵庫県朝来市議会 視察受入	—	—	—	—	○	—	○	—	—	○	—	—	○
	10	水	巨理地方町議会議長会 視察研修（～12日）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠	○
	11	木	全国町村議会 広報研究会	—	○	—	○	—	○	—	○	—	—	○	—	—
	12	金	総務民生常任委員会	—	○	—	○	—	○	○	○	—	—	—	欠	—
	16	火	議会広報・広聴常任委員会	—	○	—	○	—	○	—	○	—	—	○	—	—
	19	金	産建教育常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	○	—	—
	23	火	県町村議会議長会 臨時総会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
	24	水	巨理郡内経済関係団体 意見交換会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
	25	木	全員協議会	○	○	公	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
			議会運営委員会	—	—	—	—	○	○	○	—	—	○	○	欠	○
	26	金	議会広報・広聴常任委員会	—	○	—	○	—	○	—	○	—	—	○	—	—
	29	月	総務民生常任委員会	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—	欠	—
			産建教育常任委員会 視察研修（～30日）	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	○	—	○
8	1	木	第2回議会臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
			県町村議会議長会 議員講座	○	—	—	—	○	○	—	—	○	—	○	—	—
	2	金	巨理名取地区市町議会連絡協議会 議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	5	月	議会広報・広聴常任委員会 視察研修（～6日）	—	○	—	○	—	○	—	○	—	—	○	—	—
	8	木	産建教育常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	○	—	—
	9	金	巨理地方町議会議長会 議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	19	月	総務民生常任委員会	—	○	—	—	○	—	欠	○	○	—	—	○	—
	20	火	全員協議会	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
	21	水	産建教育常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	○	—	—
	22	木	議会運営委員会	—	—	—	—	○	○	欠	—	—	○	○	○	○
			新地町議会議員交流会	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
	24	土	北海道伊達市創立150周年記念祭（～25日）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
	27	火	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	28	水	議会運営委員会	—	—	—	—	○	○	○	—	—	○	○	○	○
	30	金	議会広報・広聴常任委員会	—	○	—	○	—	○	—	○	—	—	○	—	—
			第3回議会定例会（8/30・9/3・4・6・18）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			決算審査特別委員会（9/6・9～13）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
9	2	月	総務民生常任委員会	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—	○	—
			産建教育常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	○	—	—
	12	木	常磐自動車道建設促進特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			議会運営委員会	—	—	—	—	○	○	○	—	—	○	○	○	○
	17	火	総務民生常任委員会	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—	○	—
	25	水	議会運営委員会	—	—	—	—	○	○	○	—	—	○	○	○	○
	30	月	議会広報・広聴常任委員会	—	○	—	○	—	○	—	○	—	—	○	—	—

議長交際費

区 分	7月		8月		9月	
	金額(円)	内 容	金額(円)	内 容	金額(円)	内 容
会 費	14,000	全国町村議会議長会 会長退任慰労会 ほか1件	17,000	自衛隊夕涼み会 ほか2件	0	—
慶 弔	11,000	巨理郡柔道大会 祝儀 ほか2件	30,200	町民ゴルフ大会 祝儀 ほか4件	6,000	ふじ幼稚園・やまもと幼稚園運動会 祝儀
その他	9,800	視察お土産代 ほか1件	5,120	視察お土産代	4,924	新地町議会研集会 講師食事代
合 計	34,800		52,320		10,924	

すぎです
やまもと



山元クラブ

代表 齋藤 信夫氏 会員24名

当チームは宮城県シニアソフトボール連盟（60歳以上のシニア部31チーム、69歳以上の古希部9チーム、スローピッチのジョイフル部4チーム）のシニア部に平成21年度加盟。会員は町内居住者と町外居住者（震災後町外に転出）が半々になっています。連盟では常に上位に位置しており、これまで本年度を含めて全国大会に8回（シニア全国大会5回・ねんりんピック大会3回）出場しています。

私たちは、全国大会に出場して勝てるチームづくりを目指しており、会員同士の「親睦と和」を大事に、「練習はウソをつかない」を合い言葉に監督を中心に1年を通して練習をしています。これからもソフトボールができる健康な体に感謝をして、楽しみながらスポーツを通じ、社会貢献をしていきます。

◆ ◆ ◆ お知らせ ◆ ◆ ◆

令和元年

第3回議会臨時会 **初議会** (予定)

会 期：11月13日(水)

開 会：午前10時

第4回議会定例会(予定)

会 期：12月6日(金)～13日(金)

開 会：午前10時

本会議：12月6日・10日・11日・13日

(一般質問は、10日・11日です。)

町ホームページをご覧ください

山元町議会で **検索**

- 議会中継(録画配信)
- 会議録
- 議決結果
- 議員、委員会等名簿
- 会期日程
- 議会だより
- 決議

以上の内容を掲載しています。

編集デスク

秋も深まり季節の変わり目を迎えております。いかがお過ごしでしょうか。私たち広報委員は、皆様に読みやすく、わかりやすく、手に取り読んでいただけるにはどうしたらよいかと「議会だより」の紙面づくりに努めてまいりました。いよいよ、今回の発行号が現委員最後の「議会だより」になります。

震災から8年7カ月が経過し、新しい町の形は見えてきました。心の復興はこれからだと思います。持続可能な町づくりのため今後とも力を合わせて努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(委員 渡邊千恵美)

〈議会広報・広聴常任委員会〉

委員長 岩佐 秀一
副委員長 大和 晴美
委員 渡邊千恵美
委員 岩佐 孝子
委員 橋元 伸一